

第101期 業務報告書

2022年4月1日～2023年3月31日



青い海・みどりの山・大切な地元
新宮信用金庫

地域とともに歩み続ける・・・

どこまでも、どんなときも、
地域とともに歩み続けること。
それは私たちしんぐう信金の
変わらぬ姿勢です。
これからもしんぐう信金は、
この街と生きていきます。



店舗一覧

店舗名	所在地	電話番号
本店営業部	〒647-0004 新宮市大橋通3丁目1番地の4	0735-22-6191
徐福支店	〒647-0004 新宮市大橋通3丁目1番地の4	0735-21-6263
勝浦支店	〒649-5332 東牟婁郡那智勝浦町朝日2丁目165番地の3	0735-52-0123
佐野支店	〒647-0071 新宮市佐野1丁目2番21号	0735-31-7055
御浜支店	〒519-5204 南牟婁郡御浜町阿田和4265番地	05979-2-2010
熊野支店	〒519-4324 熊野市井戸町385番地の1	0597-89-1500
十津川支店	〒637-1554 吉野郡十津川村平谷455番地	0746-64-0311
緑ヶ丘支店	〒647-0043 新宮市緑ヶ丘1丁目8番35号	0735-21-6110

URL: <https://www.shinkin.co.jp/shingu>

店外ATMコーナー

徐福出張所	新宮市蓬莱2丁目1番5号
主婦の店パシフィックマーケット出張所	南牟婁郡紀宝町鶴殿1712番地の1
スーパーセンターオークワ南紀店出張所	新宮市佐野3丁目11番19号
イオン新宮店出張所	新宮市橋本2丁目14番23号

ごあいさつ

会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、当金庫に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに2022年度、第101期の決算につきましてご報告申し上げます。
昨年度のが国経済は、ようやく新型コロナウイルス感染症にも慣れて落ち着いてきましたが、通常に近い経済活動を取り戻すには、もう少し時間が必要であり、景気が停滞する状況となりました。

当地方においても、その影響により需要の低迷や先行き不透明感などから、景気の下振れが不可避な状況となっており、引続き厳しい状況が続いています。

このような中においても、この難局を乗り越え、成長経路に乗せていくために、岸田政権が掲げる「新しい資本主義」の旗印のもと、①物価高騰・賃上げへの取組、②円安を活かした地域の「稼ぐ力」の回復、③「新しい資本主義」の加速、④国民の安全の4つを柱とする総合的な経済政策が決定され、今後の地域経済が、再び景気回復軌道に復帰することが期待されるところであります。

当地方に本店を置く唯一の地域金融機関として、本年6月9日に金庫創立101周年を迎えることが出来ました。これもひとえに地域の皆様のご支援・ご愛顧の賜物と感謝し、その先の更なる100年へ繋げてまいります。

「ひたむき こだわる 正々堂々 礼儀正しい」を経営の原点に置き、当地方の金融を担っている事を自覚し、コンサルティング機能を充実し、成長性を見極めて、金融仲介機能を発揮して、地域経済の成長・活性化に寄与することが当金庫の使命であります。経済活動がコロナ感染拡大前の水準まで回復するには、相当の時間を要するものと思われませんが、取引先の資金繰りを支え、事業継続を徹底的に支援し地元経済の回復に努めてまいります。

当金庫は、「長期3か年経営計画」に基づき、貸出金を中心とした確固たる収益基盤を確立するとともに、地域に対する責任と使命を自覚し、その役割を果たすため、自らを革新してまいります。①安定した収益、②組織力の向上（人材育成）、③デジタル化への対応、④地域活性化への対応を実践してまいります。

また、地域金融機関としての当金庫の方向性は、「原点回帰」であります。「原点回帰」の具体的な行動とは、①貸出金を中心にした収益の確保、②お客様との信頼関係の強化、③経費削減、④人材育成、⑤100周年企業であります。

当地方の発展・成長のために、当金庫しかできない「地域貢献」があります。いつも地域の活性化のために役職員は何をなすべきかを常に考えて、特に創業・事業承継・経営支援に重点を置き、コンサルティング機能の向上に力をいれてまいります。

2021年度よりスタートした『長期3か年経営計画 NEXT STAGE～100年の感謝、想いをかたちに未来を創る～』のもと、「安定した収益・財務基盤の確立」「組織力の向上」「デジタル化への対応」「地域活性化への対応」の4つを柱として、当金庫がこれまで以上に地域での存在感を高めていくことを目指し役職員が一丸となって努めた結果、預金1,170億円、貸出金479億円、当期純利益276百万円、自己資本比率28.65%、不良債権比率4.31%と健全性を維持することができました。これもひとえに会員ならびにお取引先各位のご支援、ご愛顧の賜物と厚く感謝申し上げます。

当金庫は、コンプライアンス態勢の一層の充実強化を図り、地域・規模・特性等を踏まえた統合的リスク管理態勢（内部統制の構築）の強化を推進し、地域になくてはならない地域金融機関として、役職員一同が邁進していく所存でございますので、今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

新宮信用金庫
理事長 浦木 睦雄

経営理念

地元の発展のために、よい企業、よい家庭、よい社会の建設に金庫の力を結集しましょう。

地元の繁栄を願い、常に地元とともに共存共栄の精神で、地元の人達の事業や生活の繁栄のために、地域金融機関としてその使命に徹し、役立てられるよう努力いたします。

私たちの綱領

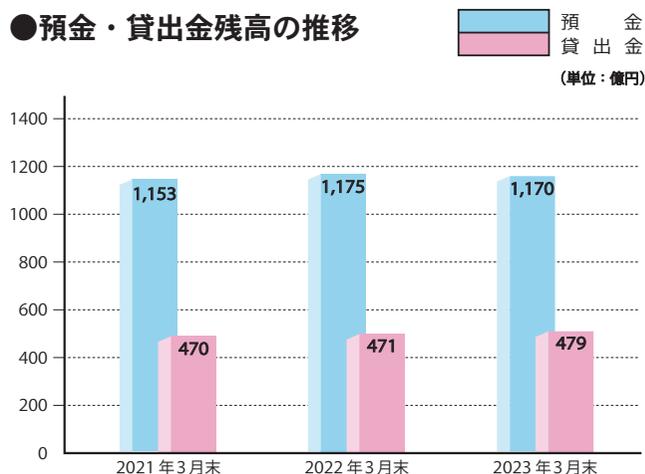
1. 私たちは、地元のみなさまにより、つくられ育てられたあなたたちの金融機関です。
2. 私たちは、地元のみなさまへの奉仕と、地元発展へのお手伝いを最大の念願としています。
3. 私たちは、お客さま、あなたのご満足をもって、すべての喜びといたします。
4. 私たちは、あなたのご商売の後ろ盾となれるよう、どこまでも大きく育ちたいと思います。
5. 私たちは、あなたのお台所のどんな零細なご用にも役立ちたいと思います。
6. 私たちは、地元のみなさま方、みんなから愛され、導かれる金融機関でありますよう、どこまでも努めます。

当金庫の概要（2023年3月末現在）

名称	新宮信用金庫
所在地	〒647-0004 和歌山県新宮市大橋通3丁目1番地の4 TEL 0735-22-2000
創立	1922年6月9日
出資金	2億5,663万円
会員数	7,783人
職員数	73人
店舗数	8店舗

事業の概要

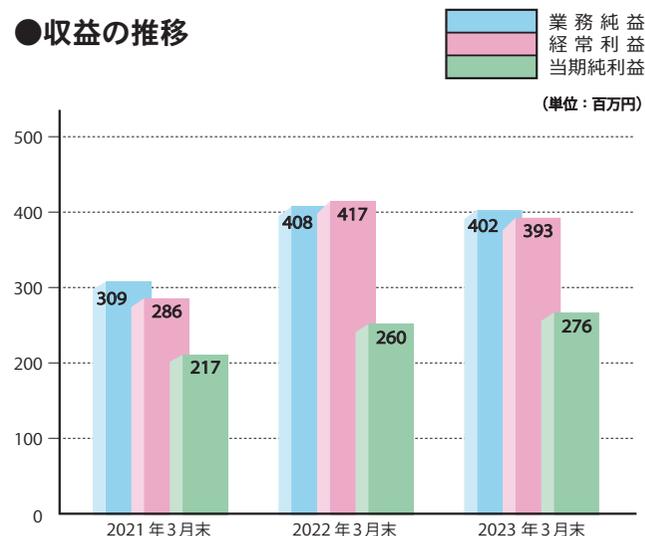
●預金・貸出金残高の推移



■預金と貸出金の状況

預金については、2023年3月末・1,170億円と前年度に比べ5億円減少しました。
貸出金については、2023年3月末・479億円と前年度に比べ8億円増加しました。

●収益の推移



■収益の状況

市場金利が低水準で推移する厳しい環境の中、経営の合理化・効率化に努め、業務純益は402百万円を計上、また諸償却、諸引当金繰入などを行った結果、経常利益は393百万円、当期純利益は276百万円となりました。

●信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

区 分	2023年3月末
●破綻更生債権及びこれらに準ずる債権	300
●危険債権	1,593
●要管理債権	174
三月以上延滞債権	42
貸出条件緩和債権	132
小 計①	2,068
うち担保・保証額②	1,543
うち貸倒引当金繰入額③	346
保全率 (②+③) / ①	91.39%

当金庫の2023年3月末の開示債権は2,068百万円・・・①
このうち不動産・預金担保・保証協会等の担保・保証額で1,543百万円・・・②
さらに346百万円を引当処理（貸倒引当金繰入＝事前の手当て）・・・③
しており、保全率（カバー率）は91.39%に達しており、不良債権への対応に万全を期しています。

●有価証券の時価情報

(単位：百万円)

	種 類	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	45	5	40
	債券	12,738	12,020	717
	国債	4,711	4,301	410
	地方債	3,556	3,423	132
	社債	4,470	4,296	174
	その他	3,801	3,409	392
	小 計	16,585	15,435	1,150
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	-	-	-
	債券	25,576	27,349	△ 1,773
	国債	6,814	7,272	△ 457
	地方債	12,370	13,250	△ 879
	社債	6,390	6,827	△ 437
	その他	12,381	13,948	△ 1,566
	小 計	37,957	41,297	△ 3,340
合 計		54,542	56,733	△ 2,190

(2023年3月末)

注1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
注2. 上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。
注3. 市場価格のない株式は、本表には含めておりません。

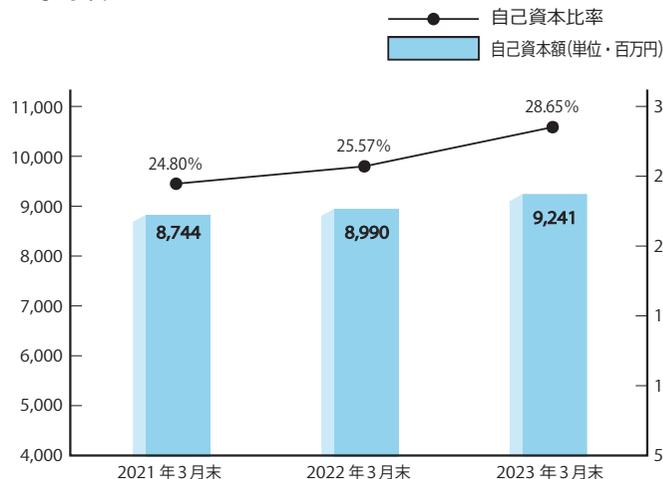
●自己資本比率（国内基準）の推移

（単位：百万円）

項 目	2023年3月末
コア資本に係る基礎項目	
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	9,223
うち、出資金及び資本剰余金の額	256
うち、利益剰余金の額	8,984
うち、外部流出予定額(△)	7
うち、上記以外に該当するものの額	△9
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	37
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	37
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	9,261
コア資本に係る調整項目	
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	19
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	19
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	19
自己資本	
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	9,241
リスク・アセット等	
信用リスク・アセットの額の合計額	29,690
資本(オン・バランス)項目	29,618
オフ・バランス取引等項目	72
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	2,563
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	32,254
自己資本比率	
自己資本比率((ハ)/(ニ))	28.65%

■自己資本比率について

金融機関の健全性を判断する大変重要な指標が「自己資本比率」です。当金庫の自己資本比率は、2023年3月末で28.65%と高く、国内基準の4%を大きく上回り健全な経営を行っています。



庶務の概要

通常総代会

2022年6月20日開催の第100期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案どおり承認可決されました。

第1号議案 第100期(2021年度)剰余金処分案承認の件

出資会員の皆様へ

出資証券における諸手続きについて

①住所・氏名等の変更について

出資証券、変更内容が確認できる書類、および届出印をご用意いただき、金庫所定の「届出事項変更届」に必要事項を記入の上、当金庫窓口へご提出ください。

②会員の方が死亡された場合について

脱退手続きが必要となりますので、相続人を代表する方は当金庫窓口へご相談ください。
なお、相続人が出資証券を譲受することも可能ですが、一定の条件が必要な場合もあり、認められない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

③会員の脱退について

出資証券、届出印、本人確認書類をご用意いただき、当金庫窓口へご相談ください。
なお、出資証券の払戻しまで、しばらくお時間をいただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。

その他出資金、配当金に関するお問い合わせは、当金庫各店舗へお問い合わせください。

●復興特別所得税について

2013年(平成25年)から2037年(令和19年)まで、出資配当金にかかる所得税(20%)に対しては、復興特別所得税(所得税額20%×2.1%=0.42%)が付加されております。

第101期 貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：百万円)

(資産の部)	金額
現金	2,489
預け金	18,141
有価証券	54,547
国債	11,525
地方債	15,927
社債	10,861
株式	50
その他の証券	16,182
貸出金	47,917
割引手形	62
手形貸付	1,092
証書貸付	45,714
当座貸越	1,048
その他資産	621
未決済為替貸	9
信金中金出資金	479
前払費用	0
未収収益	117
その他の資産	14
有形固定資産	856
建物	500
土地	279
リース資産	1
その他の有形固定資産	74
無形固定資産	19
ソフトウェア	16
その他の無形固定資産	2
繰延税金資産	722
債務保証見返	7
貸倒引当金	△ 380
(うち個別貸倒引当金)	(△ 343)
資産の部合計	124,942

注1. 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(単位：百万円)

(負債の部)	金額
預金積金	117,015
当座預金	1,786
普通預金	64,414
貯蓄預金	22
定期預金	46,445
定期積金	3,858
その他の預金	488
その他負債	141
未決済為替借	16
未払費用	22
給付補填備金	0
未払法人税等	71
前受収益	4
払戻未済金	2
リース債務	1
その他の負債	22
賞与引当金	22
退職給付引当金	18
役員退職慰労引当金	83
偶発損失引当金	4
睡眠預金払戻損失引当金	2
債務保証	7
負債の部合計	117,296
(純資産の部)	
出資金	256
普通出資金	256
利益剰余金	8,984
利益準備金	259
その他利益剰余金	8,724
特別積立金	8,300
当期末処分剰余金	424
処分未済持分	△ 9
会員勘定合計	9,230
その他有価証券評価差額金	△ 1,584
評価・換算差額等合計	△ 1,584
純資産の部合計	7,646
負債及び純資産の部合計	124,942

第101期 損益計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで (単位: 千円)

科 目	金	額
経 常 収 益		1,570,811
資金運用収益	1,351,335	
貸出金利息	771,856	
預け金利息	19,218	
有価証券利息配当金	548,426	
その他の受入利息	11,832	
役務取引等収益	135,371	
受入為替手数料	53,603	
その他の役務収益	81,767	
その他業務収益	55,378	
国債等債券売却益	54,715	
その他の業務収益	663	
その他経常収益	28,726	
その他の経常収益	28,726	
経 常 費 用		1,177,516
資金調達費用	12,289	
預金利息	11,808	
給付補填備金繰入額	480	
役務取引等費用	109,638	
支払為替手数料	10,349	
その他の役務費用	99,289	
その他業務費用	420	
その他の業務費用	420	
経 費	1,050,021	
人 件 費	647,800	
物 件 費	365,942	
税 金	36,279	
その他経常費用	5,145	
貸倒引当金繰入額	3,178	
その他の経常費用	1,967	
経 常 利 益		393,295
特 別 損 失		80
固定資産処分損	80	
税引前当期純利益		393,215
法人税、住民税及び事業税	116,761	
法人税等調整額	△ 520	
法人税等合計		116,241
当期純利益		276,974
繰越金(当期末残高)		147,683
当期末処分剰余金		424,657

注1. 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
2. 出資1口当たり当期純利益金額54円98銭

第101期 剰余金処分計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

科 目	金	額
当 期 未 処 分 剰 余 金		424,657,305 円
繰越金(当期末残高)		147,683,123 円
当 期 純 利 益		276,974,182 円
利 益 準 備 金 取 崩 額		2,764,000 円

これを次の通り処分いたします。

剰 余 金 処 分 額	277,504,608 円
普通出資に対する配当金(年3%)	7,504,608 円
特 別 積 立 金	270,000,000 円
繰越金(当期末残高)	149,916,697 円

以上の通りであります。

2023年6月

新宮信用金庫

理事長 浦木 睦雄
常務理事 横田 勝之
常勤理事 南 聖
" 小谷 浩史
" 和平 幸勝
理 事 関 康之
" 植松 浩

上記各項を監査の結果、
正確なることを認めます。

2023年6月

常勤監事 下野 義邦
非常勤監事 尾崎 能彦
員外監事 小山 貴三郎

※貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書は、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、五十鈴監査法人の会計監査を受けております。